

2020年5月28日

第62回京都大学11月祭第1回全学実行委員会における
京都大学11月祭での環境対策に関する提案

文責 中川昂星

1993年度工学部11月祭実行委員会、並びに1994～2019年度11月祭環境対策委員会は「11月祭環境調査」を行ってきた。その結果、模擬店の使い捨て食品容器を中心に大量のごみが11月祭開催期間中に発生していることがわかった。11月祭は、大量生産・消費・廃棄が行われている今の社会を反映しているといえる。そのような構造に対し、環境に配慮することが社会の潮流になっており、11月祭の様々な企画も環境に対する負担を考え、その見直しを行う必要がある。

以上の認識に基づき、以下の提案を行う。

一、第62回京都大学11月祭全学実行委員会において、次の決議を行う。

「第62回京都大学11月祭全学実行委員会は、これまでの11月祭が及ぼしてきた環境への負担が著しいことを認め、総合的な環境への負担の削減のために、また11月祭の参加者への環境問題啓発のために、具体的対策を講じる」

二、一の決議に基づき、以下の提起を行う。

1) 環境対策委員会の設置

環境対策のための具体的手段を検討しそれを実行に移すため、全学実行委員会内に「11月祭環境対策委員会」を設置する。

2) 構成

「11月祭環境対策委員会」は、11月祭に参加する意志を有するもので、11月祭の環境負荷を削減しようとする意志を持つ者によって構成される。

3) 業務

「11月祭環境対策委員会」は第62回11月祭において、成立した環境対策を円滑に行うための業務を行う。又、事務局その他機関に対して「11月祭環境対策委員会」はその業務を共同して行うことができる。

4) 企画・参加者への周知徹底

全学実行委員会は第62回11月祭における各企画運営者・参加者（模擬店、来場者等）に対して、様々な機会を通して環境対策の広報宣伝、周知徹底を行う。

以上